



# 日本合成化学

## 製品安全データシート

作成・改訂 2009年05月21日

## 1. 製品及び会社情報

製品名：ニチゴーGポリマー

会社名	日本合成化学工業株式会社
	THE NIPPON SYNTHETIC CHEMICAL INDUSTRY CO., LTD.
住所	大阪市北区大淀中一丁目1番88号 梅田スカイビル（東棟）
担当部門	新事業開発部
電話番号	06-6440-5341
FAX番号	06-6440-5327
メールアドレス	<a href="mailto:ngcmsds-apb@mail.nichigo.co.jp">ngcmsds-apb@mail.nichigo.co.jp</a>
緊急連絡先 電話番号	06-6440-5341

整理番号：安技-9209

## 2. 危険有害性の要約

## GHS分類

物理化学的危険性	:	
健康に対する有害性	:	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 生殖毒性
環境に対する有害性	:	

区分2B  
区分2

上記で記載がない危険有害性は、区分外か分類対象外か分類できない。

## GHSラベル要素

絵表示



注意喚起語  
危険有害性情報

: 警告  
: 生殖能または胎児への悪影響のおそれ  
臓器（中枢神経系、視覚器、全身毒性）の障害  
呼吸器への刺激のおそれ、眠気またはめまいのおそれ  
長期または反復暴露による臓器（中枢神経系、視覚器）の障害  
眼に対する刺激性あり

注意書

: 【予防策】  
粉塵爆発を起こす危険性があるので、設備・配管等は確実に設置を行い、集塵濾布は導電性材料を用いるなどの対策をとること。  
大量に取り扱う場合には、集塵装置を設置すること。  
（製造者/供給者または規制所管官庁が指定する）保護眼鏡/保護面を着用すること。  
すべての安全注意を読み理解するまで取り扱わないこと。  
【対応】  
火災の場合：適切な消防方法をとること。  
吸入した場合：うがいをさせ、新鮮な空気を吸わせること。  
眼に入った場合：15分以上流水で洗い流すこと。  
皮膚に付着した場合：皮膚を流水・シャワーで洗い流すこと。  
飲み込んだ場合：うがいをさせ、異常があれば医師の診断を受けること。  
【保管】

3,000kg以上の保管については、消防法指定可燃物として規制を受ける。  
 水に溶解するので、雨水等がかからないように保管すること。  
 吸湿してブロックになりやすいので、高温多湿の場所での保管を避けること。  
 適切な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管すること。

## 【廃棄】

粉末状：一般塵芥と同様に焼却すること。  
 水溶液：活性汚泥により処置すること。  
 その他：国際／国／都道府県／市町村の規則に従って廃棄すること。

GHS分類に該当しない他の危険有害性  
 : 粉塵爆発の恐れ  
 想定される非常事態の概要  
 : 粉塵爆発の恐れ  
 国・地域情報  
 : 非危険物－可燃性固体類（消防法；指定可燃物）

## 3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別: 単一製品  
 化学名又は一般名 : ビニルアルコール系樹脂  
 化学特性（化学式等） : 非公表  
 CAS No. : メタノール 67-56-1  
 : 酢酸メチル 79-20-9  
 : 酢酸ナトリウム 127-09-3  
 濃度又は濃度範囲（含有量）  
 : ポリビニルアルコール系樹脂 93.5%以上  
 : メタノール 3%以下  
 : 酢酸メチル 1.5%以下  
 : 酢酸ナトリウム 1.5%以下  
 官報公示整理番号 : メタノール 2-201  
 : 酢酸メチル 2-725  
 : 酢酸ナトリウム 2-692  
 GHS分類に寄与する不純物、安定化添加物  
 : メタノール 3%以下  
 : 酢酸メチル 1.5%以下

## 4. 応急措置

吸入した場合 : うがいをさせ、新鮮な空気を吸わせ、異常を感じたら医師の診断を受ける。  
 呼吸が止まっている場合は、衣服を緩め呼吸気道を確保した上で人工呼吸を行う。  
 呼吸をしながら嘔吐がある場合は、頭を横向きにする。  
 皮膚に付着した場合 : 体を毛布などで覆い、保温して安静を保つ。  
 : 粉末の状態又は水溶液の状態が付着した場合ともに水洗除去する。  
 皮膚の赤変や痛みなどの症状が出た場合には、必要に応じて医師の診断を受ける。  
 目に入った場合 : 直ちに15分間以上多量の水で洗い流し（できればコンタクトレンズをはずして）、医師の診察を受ける。  
 寸秒でも早く洗浄を始め、入った製品を完全に洗い流す必要がある。  
 洗浄を始めるのが遅れたり、不十分だと障害を生じることがある。  
 飲み込んだ場合 : うがいをさせる。異常を感じたら医師の診断を受ける。  
 最も重要な徴候及び症状: 特になし  
 応急措置をする者の保護: 防塵用保護眼鏡を着用することが望ましい。

## 5. 火災時の措置

消火剤 : 水噴霧、粉末消火薬剤  
 使ってはならない消火剤: 特になし  
 火災時の特有の危険有害性: 粉塵爆発の恐れがある。  
 特有の消火方法 : 一般の火災と同様、水、あるいは粉末消火剤等で消火する。

## 6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項・保護具  
 : 微粉を含んでいるので保護具（ゴム手袋、防塵マスク、及び防塵用保護眼鏡等）を着用して作業を行う。

- 環境に対する注意事項 : こぼれた物質を容器内に掃き入れる；湿らせてもよい場合は、粉じんを避けるために湿らせてから掃き入れる。  
残留分を多量の水で洗い流す場合には、河川等へ排出され、環境への影響を起さないよう注意する。
- 封じ込め及び浄化の方法 : 機材  
: 粉末；掃き集めて容器に回収する。使用できない場合は、一般塵芥と同様に焼却する。  
水がかかると糊状になり滑りやすくなるので注意する。  
溶液；多量の場合は回収する。廃水に浸入した場合は活性汚泥処理した後、放流する。
- 二次災害の防止策 : 特になし。

## 7. 取扱い及び保管上の注意

- 取扱い : 微粉を含んでおり、皮膚及び目を保護するために、ゴム手袋、防塵マスク及び防塵用保護眼鏡等をつけることが好ましい。
- 技術的対策 : 大量に取扱う場合には集塵装置を設置する。また、静電気火花を着火源として粉塵爆発を起こす危険性があるので、設備・配管等は確実に接地を行い、集塵濾布は導電性材料を用いる等の対策が必要である。
- 局所排気・全体換気 : 大量に取扱う場合には集塵装置を設置する。
- 注意事項 : 粉塵爆発
- 安全取扱い注意事項 : 酸化剤、酸、塩基等と離して保管する。
- 保管 : 1. 水に溶解するので、雨水等にかからないように保管する。  
2. 吸湿してブロックになりやすいので、高温多湿の場所は避けて保管する。  
3. 3,000kg以上の保管については、消防法指定可燃物としての規制を受ける。  
4. 市町村条例の定めるところに従う。(指定可燃物—可燃性固体類—3000kg)
- 技術的対策 : 特になし
- 適切な保管条件 : 1. 容器が破損しないようていねいに扱う。  
2. 適切な換気のある乾燥した冷暗所に密封して保管する。  
3. 酸化剤、酸、塩基等と離して保管する。
- 安全な容器包装材料 : クラフト袋、フロン袋、ポリ容器等

## 8. 暴露防止及び保護措置

- 設備対策 : 局所排気装置の設置が好ましい。
- 管理濃度 : 設定されていない
- 許容濃度 : ACGIH : (2005年度版) 設定値なし
- 保護具 : 呼吸器の保護具 : 防塵マスク  
手の保護具 : ゴム手袋  
目の保護具 : 安全眼鏡、安全ゴーグル

## 9. 物理的及び化学的性質

- 外観 (物理状態、形状、色) : 物理的状态 : 白色～淡黄色の粉末又は顆粒  
形状 : 粉末又は顆粒  
色 : 白色～淡黄色
- 臭い (臭いの閾値) : わずかに酢酸臭
- pH : 5～7
- 融点/凝固点 : 150～230℃
- 沸点、初留点と沸騰範囲 : なし
- 引火点 : 測定データなし
- 自然発火温度 (発火点) : 測定データなし
- 燃焼または爆発範囲の上限/下限 : 上限 : 測定データなし 下限 : 測定データなし
- 蒸気圧 : なし
- 蒸気密度 : なし
- 比重 (相対密度) : 1.19～1.31 嵩比重 0.2～0.7
- 溶解性 : 溶媒に対する溶解性 : 水に易溶。一般溶剤には不溶または難溶
- n-オクタノール/水分配係数 : 知見なし
- 分解温度 : 230℃以上

## 10. 安定性及び反応性

安定性	: 極めて安定
危険有害反応可能性	: (可燃性: 有) (発火性: 無) (酸化性: 無) (粉じん爆発性: 有) (安定性・反応性: 極めて安定)
避けるべき条件	: 高温多湿の環境。水濡れで固化の恐れ。
混触危険物質	: なし
危険有害な分解生成物	: なし
その他	: なし

## 11. 有害性情報

急性毒性	: 経口マウス LD50 2,000mg/kg超
皮膚腐食性/刺激性	: 皮膚感作性: 陰性。GHS分類において区分外となる。EU指令2001/59/ECの感作性分類に該当しない。 皮膚刺激性: EU指令2001/59/ECでの刺激性或いは腐食性分類に該当しない。ウサギの皮膚によるDraizeの分類スキームにおいて、弱い刺激物に当たる。
眼に対する重篤な損傷/刺激性	: GHS分類において区分外となる。EU指令2001/59/ECでの刺激性或いは腐食性分類に該当しない。ウサギによる改良Kay and Calandra分類では最小の刺激物(1~8の分類でクラス3)に当たる。
変異原性(生殖細胞変異原性)	: 陰性
発がん性	: 陰性

## 12. 環境影響情報

生態毒性	
魚毒性	: ニジマス LC50 100mg/l超
残留性/分解性	: シュードモナス菌などを含有するスラッジによって生分解する。*7
生体蓄積性	: 「濃縮性が無い、又は低いと判断される物質」に分類されている。*8

## 13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	: 1. 粉末状として廃棄する場合は一般塵芥と同様に焼却する。 2. 水溶液として廃棄する場合は活性汚泥法により処置する。 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の定めるところに従って処理する。
汚染容器及び包装	: 1. 粉末状として廃棄する場合は一般塵芥と同様に焼却する。 2. 水溶液として廃棄する場合は活性汚泥法により処置する。 「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」の定めるところに従って処理する。

## 14. 輸送上の注意

国際規制	: 該当せず
国連分類	: 該当せず
国連番号	: 該当せず
海洋汚染物質	: 該当せず
輸送の特定の安全対策及び条件	: 雨水のかからないよう、ホロまたはシートをかける。

## 15. 適用法令

適用法令	: 消防法第9条の3(指定可燃物)(可燃性固体類—3000kg) 労働安全衛生法第57条及び第57条の2(名称等を通知すべき有害物: メタノール、酢酸メチル)
------	--

## 16. その他の情報

その他	: 特になし
-----	--------

「注意」

- ・この情報は新しい知見及び試験等により改正されることがあります。
- ・記載内容は現時点で入手できた資料や情報に基づいて作成しておりますが、情報の正確さ、安全性を保証するものではありません。
- ・注意事項は通常取り扱いを対象としたものですが、特別な取り扱いをする場合には、新たに用途用法に適した安全対策を講じた上で実施願います。
- ・すべての化学製品には未知の有害性があり得るため、取り扱いには細心の注意が必要です。ご使用各位の責任において、安全な使用条件を設定くださるようお願い申し上げます。